不思議な物語集（本更新は終了しました。）

ふーとんとん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不思議な物語集（本更新は終了しました。）

【Nコード】

N8994K

【作者名】

ぶーとんとん

【あらすじ】

これは不思議な悪魔がもたらした不思議な話。

これから次々と犠牲になっていく人々。

さあ、あなたも不思議な悪魔の餌食となる……

鏡の向う側のオレ

俺は、毎日が満足いつてなかった。

満足の出来ない毎日を過ごしていると、

鏡に自分らしきものが見えるようになった。

幻覚かと思ったが、毎日くつきり見える。

そして、毎日俺に話しかけてくる。でもそれは酷い言葉ばかりだ。

バカだアホだと。

「何だよお前、お前鏡の中にいるのかよ。」

「ああ、ここにな。」

相手は自分は鏡にいると言う。

一度精神科にいつてみた。

「何だか変なものがいつも見えるんです。それも喋ったりするんです。」

ただし、どこへいつても返ってくる言葉はこれ一つ。

「原因は分かりません。」

またまたある日、そいつはまた鏡の中にいた。すると、おかしなこ

とを言い出した。

「俺はお前、お前は俺だ。」

はあ！？と超えだして言い出しそうな感じがしたそのとき！

「お前、死にたいんだろう。こっちに来てよ。」
「と言い、腕が出てきた。」

「う、うわぁ！」

両手で引つかき振り払った。

そして俺は決心した。

(この鏡を割る)

ナイフを持って、鏡の前に立った。そして、

「この俺の前に二度と現れるなあ！！」

ナイフは鏡の向こうの俺に刺さった。

すると、俺の胸からもナイフが出てきた。

「フッフ。俺は死ぬがお前も死ぬ。これでいいんだよ…。ざまみ…

…る…」

「この男も不思議な悪魔の犠牲者となったようです。残念でしたなあ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8994k/>

不思議な物語集（本更新は終了しました。）

2011年7月10日18時05分発行